

平成 20 年度 新学術領域研究（研究領域提案型） 審査結果の所見

| | |
|---|----------------------------|
| 研究領域名 | 分子自由度が拓く新物質科学 |
| 領域代表者名 | 鹿野田 一司 （東京大学・大学院工学系研究科・教授） |
| 研究期間 | 平成 20 年度～ 24 年度 |
| 【科学研究費補助金審査部会における所見】 本研究領域は、分子性物質の持つ配列自由度と内部構造自由度を統合した分子自由度という視点で分子性物質の研究を統合的、組織的に推進することで、物質科学に新しい潮流を作ることをめざした提案である。領域代表者を中心として、分子自由度を利用した物理と化学を融合させた新しい物質科学の創成に向けて、適切に研究計画の立案がなされているとともに、各計画研究に理論と実験の研究者が配置されており、バランスのよい組織構成となっている。また、世界で活躍できる若手研究者の育成に対しても十分に配慮されている。 | |